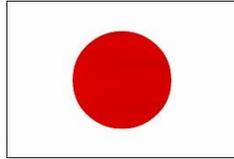




ナミビア通信

～のんびり(Nombili)～



青年海外協力隊
岩塚善哉
1st. March. 2019 No.7

3年生の卒業も間近となってきましたね。中学校生活では、楽しいこと辛いことなどたくさんあったと思います。すべてが順風満帆とはいかないのが人生だと思います。こうした経験したことはすべてどこかで生きてくると思います。次のステージでも一步一步成長していくこと願っています。私自身、異国の地で経験することが夢で青年海外協力隊に応募しました。皆さんも夢を見付け、実現に向けて頑張ってください。
「卒業おめでとうございます。」

バレンタインデー (Valentine's day)

先月2月14日は、バレンタインデーでしたね。日本ではチョコレートを渡す文化が定着していますが、ナミビアではチョコは渡しません。

私の職場では花を準備したり、軽食をつくったりしました。ナミビア



ダンスや歌の出し物

の多くの学校では、赤、白または黒、白の服装で学校に登校します。先生方もバレンタインを祝うためにおしゃれをしていました。

知り合いに会えば「Happy Valentine」と言って、祝っていました。こういった文化も良いものですね。

また、近くの高校では、授業後にダンスや歌などの出し物が行われていました。大変盛り上がったこともあり、もうすでに来年のバレンタインデーのことを話している生徒たちもいました。



バレンタインを祝う

スポーツについて (About Sports)

ナミビアでは、サッカーがとても人気なスポーツの一つです。家の前が学校のグラウンドとなっており、高校生たちが、サッカーの試合を行っていました。高校生だけでなく、地域の人たちが観戦して盛り上がっていました。また、私の地域では、サッカー以外にも、バレーボール、ネットボール（バスケットボールに似ているスポーツ）が人気です。ナミビア南部では、ラグビー、ゴルフ、クリケットなども人気と言われています。



トラベルアワード (Travel awards)

ナミビアの経済誌『Namibia Economist』の記事で、「イギリスにおいて、旅行先No.1にナミビアが選ばれ、No.2が日本」と伝えています。イギリスの旅行雑誌『Wanderlust』が出した結果で、ナミビアには、美しい海岸や砂丘やサファリ、伝統的な生活をする民族など、見どころを紹介しています。日本については、京都、北海道、東京が紹介されました。

ナミビアは観光地がとても多く、実際に妹夫婦も観光に来ました。アフリカ最大の渓谷や絵で描いたような砂漠、多くの野生動物など見どころは本当に多いです。今後、また紹介したいと思います。ちなみに3位はニュージーランドです。英語の記事ですが、気になれば参照してみてください。

参照

『Namibia Economist』
『Wanderlust The Original
Travel Magazine』

「Sossusvlei」という所にあります！

